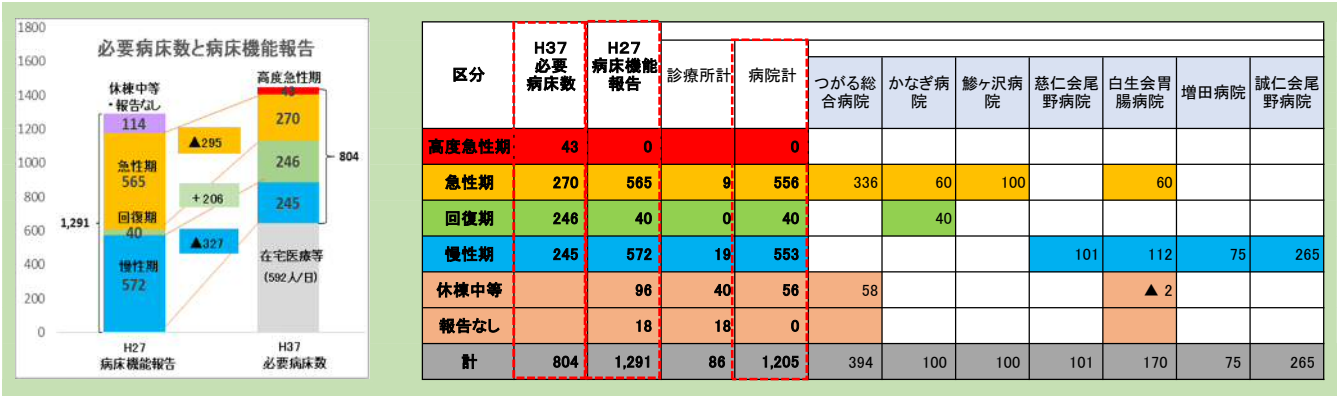


平成27年度病床機能報告の結果(診療実績等)

急性期の過剰、回復期の不足が見込まれている現状において、H27病床機能報告で急性期と報告のあった病院の診療実績等を比べ、高度急性期・急性期・回復期・慢性期について、H37必要病床数の姿に近づくための議論の参考として作成。



- (考察)
- ・将来の必要病床数と直近の病床機能報告の結果を比べると、高度急性期と回復期が不足しているのに対して、急性期が過剰となっている。
  - ・高度急性期と報告のあった病院はない。
  - ・現在、入院医療で対応している患者のうち将来的に在宅医療へ移行することが可能と考えられる患者は、平成37年で592人と推計されており、新たに在宅医療の提供体制の整備が必要である。

1. 算定する入院基本料届出病床数

	つがる総合病院	かなぎ病院	鯉ヶ沢病院	慈仁会尾野病院	白生会胃腸病院	増田病院	誠仁会尾野病院
一般病棟7対1入院基本料	336						
一般病棟10対1入院基本料		60	100		60		
療養病棟入院基本料1					56	55	
療養病棟入院基本料2		40					43
介護療養病床において療養型介護療養施設サービス費等の届出あり				101	56	20	222
合 計	336	100	100	101	172	75	265

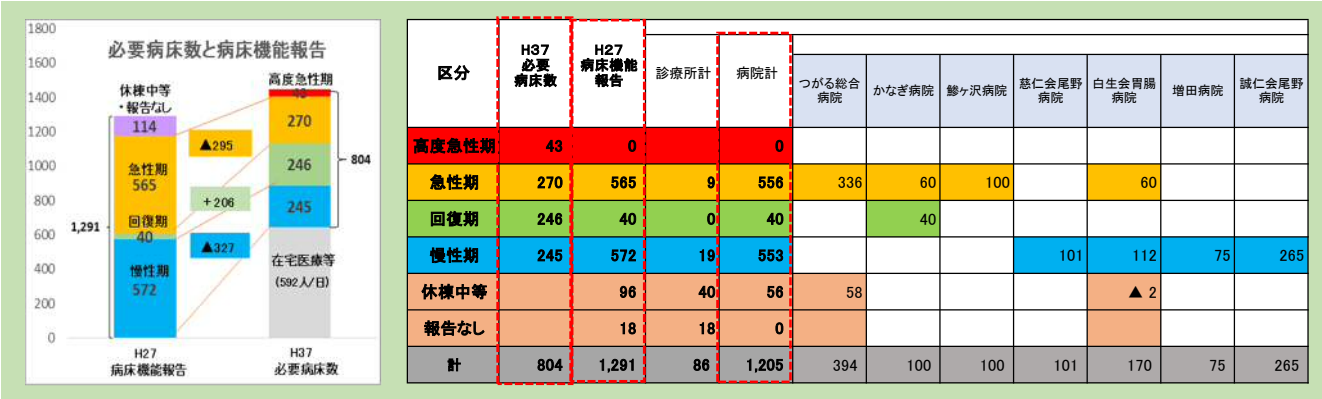
- (考察)
- ・一般病棟7対1入院基本料を届出しているのは、つがる総合病院だけである。
  - ・一般病棟10対1入院基本料を届出しているのは、かなぎ病院、鯉ヶ沢病院、白生会胃腸病院の3病院である。

2. 認定・届出等

(項目の解説)		つがる総合病院	かなぎ病院	鯉ヶ沢病院	慈仁会尾野病院	白生会胃腸病院	増田病院	誠仁会尾野病院
DPC医療機関群の種類	DPC制度とは、急性期の入院医療を担う医療機関において、患者に対し、入院日数に応じた1日あたり定額の医療費を請求する制度です。この項目は、DPC制度の対象となる病院の特性を示すもので、特性や疾患等に応じて1日あたりの医療費の設定が異なります。Ⅰ群が大学病院本院、Ⅱ群が大学病院本院に準じる病院、Ⅲ群がそれ以外の病院であることを示します。	Ⅲ群						
救急告示病院の告示の有無	救急告示病院とは、事故や急病等による救急患者を救急隊が緊急に搬送する医療機関として、都道府県知事が認めた病院です。また、救急患者のうち、入院医療が必要な重症な救急患者を休日や夜間に受け入れる医療機関を二次救急医療施設といいます。さらに、二次救急では対応できない重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる医療機関を三次救急医療施設と呼びます。	○	○	○				
二次救急医療施設の認定の有無		○						
三次救急医療施設の認定の有無								
在宅療養支援病院の届出の有無	在宅療養支援病院とは、24時間往診が可能な体制を確保し、また訪問看護ステーションとの連携により24時間訪問看護の提供が可能な体制を確保している病院のことです。							
在宅療養後方支援病院の届出の有無	在宅療養後方支援病院とは、在宅医療を受けている患者の急変時に備え、緊急入院を受け入れるための病床を確保している病院です。	○						

- (考察)
- ・在宅療養支援病院の届出を行っている病院はない。
  - ・在宅療養後方支援病院の届出を行っているのは、つがる総合病院だけである。

平成27年度病床機能報告の結果(診療実績等)



3. 手術の状況

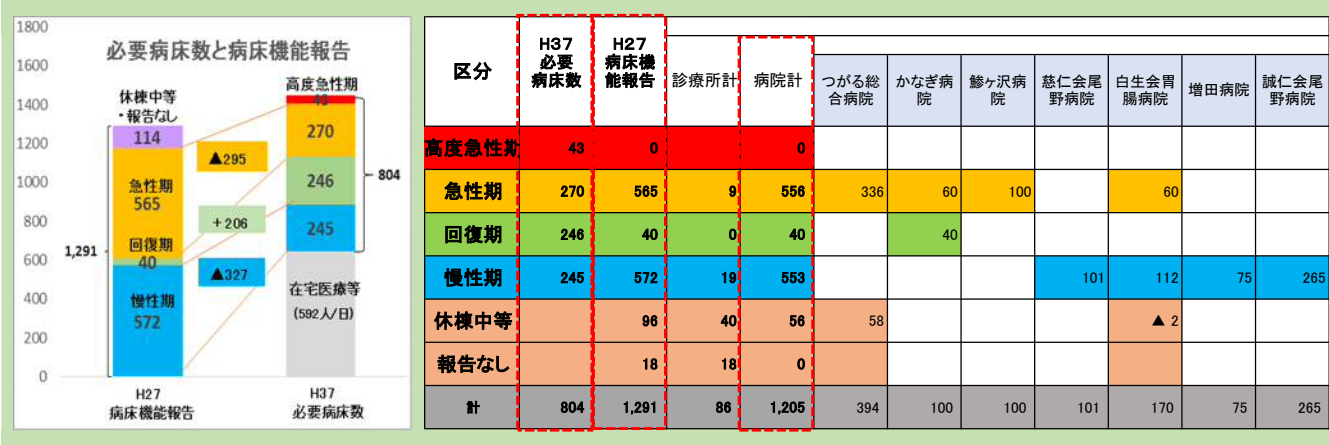
10件以上  
10件未満

1. 手術件数は、平成27年6月診療分(1ヶ月間)の値  
2. \*の表示は値が10件未満であることを示す。

		(項目の解説)	つがる総合病院	かなぎ病院	鵜ヶ沢病院	慈仁会尾野病院	白生会胃腸病院	増田病院	誠仁会尾野病院
手術総数		手術を受けた患者数と、手術の対象となった臓器別の患者数です。	286件	20件	28件	0件	未記載	0件	0件
臓器別の状況	皮膚・皮下組織		*	*	0件	0件		0件	0件
	筋骨格系・四肢・体幹		57件	0件	*	0件		0件	0件
	神経系・頭蓋		*	0件	0件	0件		0件	0件
	眼		15件	17件	0件	0件		0件	0件
	耳鼻咽喉		*	*	0件	0件		0件	0件
	顔面・口腔・頸部		0件	0件	0件	0件		0件	0件
	胸部		*	0件	0件	0件		0件	0件
	心・脈管		31件	0件	*	0件		0件	0件
	腹部		138件	*	25件	0件		0件	0件
	尿路系・副腎		14件	0件	0件	0件		0件	0件
	性器		40件	0件	0件	0件		0件	0件
	歯科		*	0件	0件	0件		0件	0件
	全身麻酔の手術件数		全身麻酔を用いて手術を受けた患者数と、手術の対象となった臓器別の患者数です。	81件	0件	*		0件	0件
臓器別の状況	皮膚・皮下組織	0件		0件	0件	0件	0件	0件	
	筋骨格系・四肢・体幹	32件		0件	0件	0件	0件	0件	
	神経系・頭蓋	0件		0件	0件	0件	0件	0件	
	眼	0件		0件	0件	0件	0件	0件	
	耳鼻咽喉	0件		0件	0件	0件	0件	0件	
	顔面・口腔・頸部	0件		0件	0件	0件	0件	0件	
	胸部	*		0件	0件	0件	0件	0件	
	心・脈管	*		0件	0件	0件	0件	0件	
	腹部	33件		0件	*	0件	0件	0件	
	尿路系・副腎	*		0件	0件	0件	0件	0件	
	性器	19件		0件	0件	0件	0件	0件	
	歯科	0件		0件	0件	0件	0件	0件	
	胸腔鏡下手術			*	0件	0件	0件	0件	0件
腹腔鏡下手術		21件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
内視鏡手術用支援機器加算		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	

- (考察)
- 手術を行っているのは、つがる総合病院、鵜ヶ沢病院、金木病院の3病院である。
  - 全身麻酔を用いた手術を月10件以上行っているのは、つがる総合病院だけである。

平成27年度病床機能報告の結果(診療実績等)



4. がん、心筋梗塞、分娩への対応状況

(がん)		10件未満		10件以上							
(項目の解説)		つがる総合 病院	かなぎ病院	鯉ヶ沢病院	慈仁会尾 野病院	白生会胃 腸病院	増田病院	誠仁会尾 野病院			
悪性腫瘍手術	がんを取るための手術です。値は手術を行った患者数です。	34件	0件	*	0件	未 記 載	0件	0件			
病理組織標本作製	患者の身体から採取した細胞や組織等を観察し、病気の確定診断をすることを病理診断といいます。病気の早期発見や治療方針の選択、治療効果の判定等にも役立ちます。値は病理診断に必要な標本(細胞の組織片等)を作成した患者数です。	103件	*	20件	0件		0件	0件			
術中迅速病理組織標本作製	病気の良性・悪性の判断や切除範囲を決めるため、手術中に病理診断をすることを術中迅速診断といいます。そのための病理組織標本作製を、手術中に行った患者数です。	*	0件	0件	0件		0件	0件			
放射線治療	がん放射線を当てる(照射する)ことで、がんを縮小させる治療を放射線治療といいます。値は放射線治療を行った患者数です。	0件	0件	0件	0件		0件	0件			
化学療法	化学療法は、抗がん剤によりがんを殺したり、小さくしたりする治療法です。値は化学療法を行った患者数です。(ここでいう抗がん剤とは、総務大臣が定める日本標準商品分類における「8742 腫瘍用薬」に指定されている医薬品のことを指します。)	35件	0件	*	0件		0件	0件			
がん患者指導管理料1及び2	がんの患者が、診断結果や治療方法を理解し、納得のいく治療方針を選択できるよう、専門的な研修を受けた医師や看護師が、文書での説明や相談、指導を行っていることを示す項目です。値は相談や指導を行った患者数です。	0件	0件	0件	0件		0件	0件			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	がんの患者に対し、カテーテル(細い管状の医療器具)等を用いて動脈や静脈等に抗がん剤を持続的に注入する治療です。値はこの治療を行った患者数です。	*	0件	*	0件		0件	0件			
肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入	肝臓がんの患者に対し、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて肝動脈内に抗がん剤を投入する治療方法を、抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入といいます。同時に、動脈の血流を遮断する物質を注入することで、肝臓のがんを殺す治療です。値はこの治療を行った患者数です。	0件	0件	0件	0件	0件	0件				

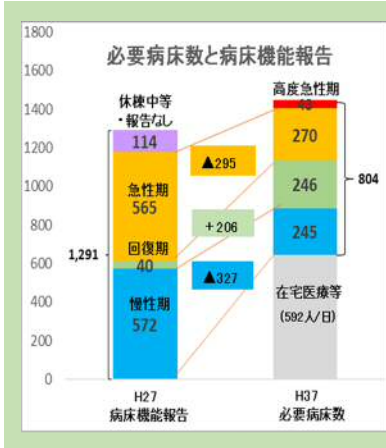
(心筋梗塞)		つがる総合病院	かなぎ病院	鯉ヶ沢病院	慈仁会尾野病院	白生会胃腸病院	増田病院	誠仁会尾野病院
(項目の解説)								
経皮的冠動脈形成術	経皮的冠動脈形成術は、狭心症や心筋梗塞等の患者に対し、胸部を切り開く開胸手術をせず、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて心臓の冠動脈を血管の内側から治療する手術です。値はこの手術を行った患者数です。	*	0件	0件	0件	未記載	0件	0件

(分娩)		つがる総合病院	かなぎ病院	鯉ヶ沢病院	慈仁会尾野病院	白生会胃腸病院	増田病院	誠仁会尾野病院
(項目の解説)								
分娩件数(正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く)	分娩を行った患者数です。	24件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

(考察)

- 悪性腫瘍の手術を月10件以上行っているのは、つがる総合病院だけである。
- 心筋梗塞の手術(経皮的冠動脈形成術)を行っているのは、つがる総合病院だけである。
- 分娩取扱を行っているのは、つがる総合病院だけである。

平成27年度病床機能報告の結果(診療実績等)



区分	H37 必要 病床数	H27 病床機能 報告	診療所計	病院計	つがる総合 病院	かなぎ病院	鶴ヶ沢病院	慈仁会尾野 病院	白生会胃腸 病院	増田病院	誠仁会尾野 病院
高度急性期	43	0	0								
急性期	270	565	9	556	336	60	100		60		
回復期	246	40	0	40		40					
慢性期	245	572	19	553				101	112	75	265
休棟中等		96	40	56	58				▲ 2		
報告なし		18	18	0							
計	804	1,291	86	1,205	394	100	100	101	170	75	265

1. 診療実績等のデータは平成27年6月診療分(1ヶ月間)の値  
2. \*の表示は値が10件未満であることを示す。  
3. 「休日に受診した患者延べ数」、「夜間に受診した患者延べ数」、「救急車受入件数」については、平成26年7月から平成27年6月までの1年間の件数

5. 救急医療の実施状況

	750件以上(社会医療法人の認定要件:夜間・休日 救急車受入件数=年750件以上)	750件以下	つがる総合 病院	かなぎ病院	鶴ヶ沢病院	慈仁会尾野 病院	白生会胃腸 病院	増田病院	誠仁会尾野 病院
救急医療管理加算1及び2	意識障害、昏睡等の重篤な状態の患者の緊急入院を受け入れていることを示す項目です。値は休日又は夜間に緊急入院し、救急医療を行った患者数です。		283件	36件	44件	0件	未記載	0件	0件
休日に受診した患者延べ数	休日(日曜、祝日、年末年始)に受診した患者数と、そのうち診療後にただちに入院が必要となった患者数です。		3,754人	1,655人	1,339人	0人	1,106人	164人	0人
うち診療後直ちに入院となった患者延べ数			551人	185人	117人	0人	79人	*	0人
夜間・時間外に受診した患者延べ数	夜間・時間外(医療機関が表示する診療時間以外の時間(休日を除く))に受診した患者数と、そのうち診療後にただちに入院が必要となった患者数です。		6,184人	705人	733人	0人	695人	23人	0人
うち診療後直ちに入院となった患者延べ数			1,245人	176人	318人	0人	69人	*	0人
救急車の受入件数	救急車や救急医療用ヘリコプター等により搬送され受け入れた患者数です。		2,980件	479件	429件	0件	212件	24件	0件
救命のための気管内挿管	気管内挿管は、気道確保を行うためのチューブ等を口や鼻から挿入する処置です。値は救命措置として気管内挿管を行った患者数です。		11件	0件	0件	0件	未記載	0件	0件

(考察)

救急車受入件数が750件を超えているのはつがる総合病院だけであり、年間約3,000件を受け入れている。

6. リハビリテーションの実施状況

	10件以上	10件以下	つがる総合 病院	かなぎ病院	鶴ヶ沢病院	慈仁会尾野 病院	白生会胃腸 病院	増田病院	誠仁会尾野 病院
疾患別リハビリテーション料	患者の疾患や状態に応じリハビリテーションを行った患者数です。		148件	43件	40件	0件		22件	48件
心大血管疾患リハビリテーション料	心筋梗塞、狭心症、慢性心不全等の患者に対し、必要な心機能の回復、疾患の再発予防等を図るために行うリハビリテーションです。値はリハビリテーションを行った患者数です。		0件	0件	0件	0件		0件	0件
脳血管疾患等リハビリテーション料	脳梗塞、脳出血等の患者に対し、必要な基本動作能力、言語聴覚能力等の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。		72件	24件	25件	0件		22件	13件
運動器リハビリテーション料	脊髄損傷による四肢麻痺、関節拘縮(かんせつこうしゆく:関節の動きが制限された状態)等の患者に対して、必要な基本的動作能力等の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。		77件	19件	14件	0件		0件	35件
呼吸器リハビリテーション料	肺炎、肺腫瘍、慢性の呼吸器疾患等の患者に対し、症状に応じて必要な呼吸訓練等を行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。		0件	0件	0件	0件		0件	0件
障害児(者)リハビリテーション料	脳性麻痺、発達障害等の患者に対し、状態に応じて行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。		0件	0件	0件	0件		0件	0件
がん患者リハビリテーション料	がんの患者に対し、治療の過程で生じた筋力低下、障害等の改善を目的として行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。		0件	0件	*	0件	未記載	0件	0件
認知症患者リハビリテーション料	重度の認知症患者に対し、必要な認知機能や社会生活機能の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。		0件	0件	0件	0件		0件	0件
早期リハビリテーション加算(リハビリテーション料)	治療開始後の早期段階(治療開始日から30日以内)からリハビリテーションを行っていることを示す項目です。値は早期段階のリハビリテーションを行った患者数です。		126件	32件	28件	0件		*	*
初期加算(リハビリテーション料)	治療開始後の初期段階(治療開始日から14日以内)からリハビリテーションを行っていることを示す項目です。値は初期段階からリハビリテーションを行った患者数です。		109件	0件	0件	0件		0件	0件
摂食機能療法	食べる機能(摂食機能)が落ちている患者に対し、症状に応じて行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。		33件	30件	0件	0件		0件	0件
リハビリテーション充実加算(回復期リハビリテーション病棟入院料)	より多くのリハビリテーションを集中的に提供できる病棟であることを示す項目です。値はこうした病棟に入院している患者数です。		0件	0件	0件	0件		0件	0件
体制強化加算(回復期リハビリテーション病棟入院料)	患者の早期の機能回復や退院を促進するために、専門の医師や社会福祉士を配置していることを示す項目です。値はこうした病棟に入院している患者数です。		0件	0件	0件	0件		0件	0件